

ぶらり

奥州散歩道

Vol. 53

大森のホタル

(衣川区下大森)



① 田の上を飛ぶゲンジボタル。明るく見える背景も、実際は真っ暗闇 ② ガイド日程を打ち合わせる矢崎会長(中央)と大森ホタルの会。7月には東京から30人の申し込みが入る ③ 駐車場は、旧大森分校の校庭をご利用ください

星

空日本一に輝いたこともある衣川区に、ホタルが湧き上がるように光る大森地区があります。地理条件に恵まれ、6月下旬から7月下旬にかけて小川で育つゲンジボタル、田んぼで育つヘイケボタル、森林で育つヒメボタルの3種を見ることができ、珍しい場所です。6月末、三好京三作「子育てごっこ」の舞台にもなった旧大森分校の前から田んぼを眼下に眺めると、ぼわっと緑白色に光る玉が幾つ幾つも昇ってききました。

「昭和30年ころは窓にサッシも無くて、ホタルがみそ汁によく飛び込んできたと聞きました」と語るホタルガイドの佐藤幸男さん(53)。農薬が普及し、その数が減りましたが、今もホタルで木がツリーのように輝く夜があるそうです。地区ではホタルの生育環境を守るため、3年前から川岸の草の刈り残しや、

洗剤、農薬の利用減に取り組み始めました。

「この地区では夜にヘビやクマが活動し、ハチもいます。見学には長袖長ズボン、長靴、帽子が必要です。ホタルだけではなく自然環境も含めて学んでいくって欲しい」と大森ホタルの会の矢崎木綿子会長(35)は語ります。

暗闇の中でこそ大きな光の玉に見えるホタル。車のライトなどの強い光はホタルの繁殖行動を阻害します。ライトを消し、騒音を立てないようマナーを守って見学しましょう。駐車場は旧大森分校校庭をご利用ください。

■ガイド料 5人まで1500円。以降1人に付き300円

■問い合わせ・ガイド申込先 大森ホタルの会・矢崎 〆 FAX 6330 ※申し込み状況によってお断りする場合あり



パナソニック耐震住宅工法テクノストラクチャーの家
モデルハウス公開中! お気軽にご来場下さい

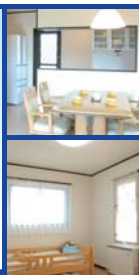
あさ10時～夕方5時まで(火曜と水曜はお休みします)

パナソニックビルダーズグループ

高惣建設株式会社

〒023-0829 奥州市水沢区花園町一丁目1番7号
TEL:0197-22-3111 FAX:0197-22-3120

0120-516-812
http://www.takasou.net/



※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※おはらいは、奥州市のホームページでもご覧いただけます。本紙1部の印刷費用は約24円です。

No. 53 (2010.7) = 24